

復習シート 第一学年 国語



| |
|----|
| 組 |
| 番号 |
| 名前 |

【文脈に即し、適切な同訓異字を選択する問題】

1 次の文の _____ 線部に当てはまる漢字を、下の（ ）から一つ選んで、丸を付けま

しょう。**レベル7**

①体温をはかる。（計・測・量）

②布をたつ。（立・絶・裁）

③応援団長をつとめる。（努・務・勤）

【色々な働きを持つ言葉の中で同じ働きで使われている言葉を選択する問題】

2 問題文の _____ 線部と同じ使い方をしているものを、ア～エから一つ選びましょう。

問題文 晴れているうちに**出かける**。

レベル9

ア、家に**いる**。

イ、七時に**集まる**。

ウ、修学旅行に**行く**。

エ、旅館の人に**会う**。

答え

【正しい敬語に直す問題】

3 次の _____ 線部の言葉をけんじよう語に直し、 に書きましょう。

レベル8

①校長先生から**賞状をもら**う。

②お客様に**来店のお礼を言**う。

③先生の**絵画を見**る。

①

②

③

【ことわざの意味を理解し適切に使う問題】

4 次のことわざの（ ）にあてはまる漢字一字を書き入れましょう。

レベル9

（ ）は**急げ**。

意味：「よいことは、思いついたら機会を逃さないで、すぐに行え」

復習シート 第一学年 国語



| | | |
|---|----|----|
| 組 | 番号 | 名前 |
| | | |

【「話すこと・聞くこと」の問題】

1 南中学校では、体育祭に小学六年生を招いて、競技に参加してもらおうことになりました。そこで、生徒会役員の大野さんたちは、小学生が行う競技について、生徒会の話し合いで決めることにしました。次は、その【話し合いの様子の一部】です。――線部の大野さんの発言は、この話し合いの中でどのような役割を果たしているか、その説明として適切なものを、あとの1～4の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【話し合いの様子の一部】

レベル7

山田 ダンスがいいと思います。ダンスだと小学生でも楽しめると思うからです。

大野 確かにダンスは楽しいですね。ですが、練習が必要ですよ。事前の練習がなくてもできるものがないと思うのですが、何か意見はありますか。

松本 リレーはどうでしょう。走るのなら難しくありませんし、盛り上がる競技だと思います。小学生と中学生で対決すると、さらに盛り上がると思います。

山田 そうですね。リレーに賛成します。しかし、小学生と中学生の対決だと、中学生の方が有利になってしまい、小学生が楽しめないと思います。

大野 では、ダンスではなく、リレーにしましょう。どのようにすれば、小学生でも楽しめるか考える必要がありますね。

松本 中学生と小学生の合同チームで競う、というのはどうでしょうか。

大野 それはいい考えですね。人数やルールなど、くわしく考えていきましょう。
～（話し合いが続く）～

- 1 これまでの話し合いの仕方を振り返り、話し合いの仕方の留意点を確認する役割。
- 2 これまでの話し合いの流れに沿って、これから話し合う内容を明らかにする役割。
- 3 これまでの話し合いで出された考えを挙げ、話し合いをまとめる役割。
- 4 これまでの話し合いで出された考えの他に、新たな考えを出そうとする役割。



埼玉県学力・学習状況調査



コナドク

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第一学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



| |
|----|
| 組 |
| 番号 |
| 名前 |

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「来たぞ」と一郎が思わず下に居る嘉助へ叫ぼうとしていますが早くも又三郎はどてをぐるつとまわってどんどん正門に入って来ると

「お早う」とはつきり云いました。みんなはいっしょにそっちをふり向きましたが一人も返事をしたものがありませんでした。それはみんなは先生にはいつでも「お早うございませ」というように習っていたのでしたがお互に「お早う」なんて云ったことがなかったのに又三郎にそう云われても一郎や嘉助はあんまりにわかで又勢がいいのでとうとう臆せてしまつて一郎も嘉助も口の中でお早うというかわりにもにやまと云つてしまつたのでした。ところが又三郎の方はべつだんそれを苦にする風もなく二三歩又前へ進むとじつと立つてそのまっ黒な眼でぐるつと運動場じゆうを見まわしました。そしてしばらく誰か遊ぶ相手がなにかさがしているようでした。けれどもみんなきろきろ又三郎の方は見えていてももじもじしてやはり忙しそうに棒かくしをしたり又三郎の方へ行くものがありませんでした。又三郎はちよつと工合が悪いようにそこにつつ立つていましたが又運動場をもう一度見まわしました。それからぜんたいこの運動場は何間あるかというように正門から玄関まで大股に歩数を数えながら歩きはじめました。一郎は急いで鉄棒をはねおりて嘉助とならんで息をこらしてそれを見ていました。

そのうち又三郎は向うの玄関の前まで行つてしまつとこつちへ向いてしばらく諸算をするように少し首をまげて立つていました。

みんなはやはりきろきろそっちを見ています。又三郎は少し困つたように両手をうしろへ組むと向う側の土手の方へ職員室の前を通つて歩きだしました。

（宮沢賢治『風の又三郎』による。）

(問い)

一 又三郎はちよつと工合が悪いようにそこにつつ立つていました。とありますが、又三郎は周りのどのような様子から工合が悪いように感じたのですか。次の空欄にあてはまる内容を三十字以上、四十字以内で書きなさい。

レベル8

又三郎が運動場で

様子。

| |
|----|
| 30 |
| 40 |